

# 教育研究業績書

氏名 加納 和雄

年 月 日現在  
枚中 枚目

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表 雑誌又は発表 学会等の名称	概 要	編者・著者名 (共著の場合 のみ記入)	該当 頁数
(学術論文) 1. "Two Short Glosses on Yogācāra Texts by Vairocanaraksita: <i>Vimśikātikāvivrti</i> and * <i>Dharmadharmatāvibhā ti</i> ."	単著	2008年 (実際の 刊行は 2009年) (平成20年)	<i>Manuscripta Buddhica</i> , Vol. I: <i>Sanskrit Texts from Giuseppe Tucci's Collection</i> , Part I. Serie Orientale Roma. Orientale Roma. Roma: IsIAO	ジュゼッペ・ツッチが1930年代 にチベットにおいて撮影した梵文 写本資料に基づいて、ヴァイロー チャナラクシタ(十一世紀)著 『二十論註』『法性分別論註』 の梵文校訂テキストを定め、梵文 写真とともに提示した。	Francesco Sferra (ed.)	343- 380頁
2. "A Preliminary Report on Newly Identified Text Fragments in Śāradā Script from Zhwa lu Monastery in the Tucci Collection." In: Francesco Sferra (ed.), <i>Manuscripta Buddhica</i> , Vol. I: <i>Sanskrit Texts from Giuseppe Tucci's Collection, Part I</i> . Roma: IsIAO, 2008.	単著	2008年 (実際の 刊行は 2009年) (平成20年)	<i>Manuscripta Buddhica</i> , Vol. I: <i>Sanskrit Texts from Giuseppe Tucci's Collection</i> , Part I. Serie Orientale Roma. Roma: IsIAO	1930年代にジュゼッペ・ツッチ がチベットで撮影した梵文写本の 中から、4点のテキストについて の比定結果を報告し、その写真 資料を提示した。	Francesco Sferra (ed.)	381- 400頁
3. 「チョムデンリクレル 『弥勒法の歴史』 —テキスト和訳—」	共著	2009年 (平成21年)	<i>Acta Tibetica et Buddhica 2</i>	近年刊行されたカダム派の古写本 集成『カダム全集第二輯』に収録 されたチョムデンリクレル著 『弥勒法の歴史』の校訂テキスト と和訳を提示し、チベットに伝え られた弥勒の五法およびその注釈 者たちについて概観した。	中村法道	119- 139頁
4. 「チョムデンリクレル 『大乘究竟論莊嚴華』 和訳および 校訂テキスト(1)」	単著	2010年 (平成22年)	『高野山大学 論叢』45	二本のチベット語古写本を使用し てチョムデンリクレルによる『宝 性論』註冒頭箇所和訳と校訂 テキストを提示し、ターラナータ によって他空派に帰されるチョム デンリクレルの如来蔵思想に 関する立場を、同書の内容分析を 通じて跡付け、この立場がトルポ バによって創始される他空説に 影響を与えた可能性を指摘した。		13- 55頁
5. 「ゲンドウンチュンペー著 『世界知識行・黄金の 平原』第一章和訳—1930年 代のチベットにおける梵文 写本調査記録—(1)」	単著	2010年 (平成22年)	『密教文化 研究所紀要』	1930年代にチベットにおいて膨大 な梵文写本を撮影し、近代仏教学 の発展に大きく貢献した、 ラーフラ・サーンクリッティヤー ヤンとゲンドウンチュンペーに よる梵文写本調査の実態につい て、旅行記の読解を通じて明らか にした。本稿ではその冒頭箇所の 和訳とテキストを提示した。		63- 103頁

(新聞記事) 理趣経梵本の刊行によせて	単著	2010年 (平成22年)	『高野山時』	2007年に苔米地等流博士によって校訂・出版された、『理趣経』梵本について内容を紹介し、文献的な価値について紹介した。
(研究発表) サキヤ南寺三解脱門堂の壁画曼荼羅		2009年 (平成21年)	平成21年度 密教研究会 学術大会	サキヤ南寺の一角にある三解脱門堂壁面に描かれた、元朝に作成された、ネパール様式をよく保持する19点ほどの壁画曼荼羅について、美術史的な観点から考察し報告した。 川崎一洋氏との共同研究。
近年の仏典梵文写本研究の動向—チベットおよびネパール所蔵の梵文写本を中心として—		2009年 (平成21年)		小谷信千代氏の特別部会パネル、「梵文写本研究の現状と課題」において、近年の仏典梵文写本研究の動向について、特に近年顕著な成果を上げつつある、中国、西欧、日本との国際共同研究の現状について報告した。
欧米における仏教学の最近の動向—『人権に対する仏教的アプローチ』を読んで—		2010年 (平成22年)		2009年ハンブルグ大学から刊行された英文論文集『人権に対する仏教的アプローチ』を読み解き、特にチベットにおける人権問題と、仏教教理における人権問題との関連性の模索について論じた。
(その他)				

※著書、学術論文、その他の別で列記してください。枠内の( )の位置は分量に応じて変更してください。

学会等および社会における主な活動		加納 和雄
	高野山大学密教学会	
	日本印度学仏教学会	
	国際チベット学会 (IATS)	
	国際仏教学会 (IABS)	
	日本チベット学会	
	密教研究会 (幹事)	
大学行政への係わり (所属委員会)		
平成20年度(2008年)	学生部協議会 選挙管理委員会	
平成21年度(2009年)	人権委員会 学生部協議会 密教文化研究所協議会 密教文化研究所兼任研究所員 選挙管理委員会	
平成22年度(2010年)	学生部協議会 人権研究会 密教文化研究所協議会 密教文化研究所専従研究所員 選挙管理委員会	

所属	文学部	職名	助教	氏名	加納和雄	大学院の授業担当の有無 ( 無 )
教育活動						
教育上の主な業績		年月日	概 要			
1. 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)		平成21年5月 (2009年5月)	高野山大学学内FD研修授業参加。			
2. 作成した教科書、 教材、参考書		平成22年6月 (2010年6月)	高野山大学密教学概論講義資料作成。			
3. 教育方法・教育実践 に関する発表、講演等		平成21年3月 (2009年3月)	平成21年度FD推進会議成果報告書に寄稿			
4. その他教育活動上 特記すべき事項		平成20年8月 (2008年8月)	平成21年度FD推進会議 (新任専任教員向け)			